



グルタチオン誘導体を含む 蛋白質リフォールディング剤



Kwansei Gakuin University

関西学院大学 理工学部化学科 教授 山口 宏

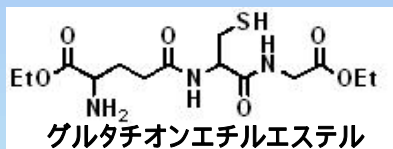
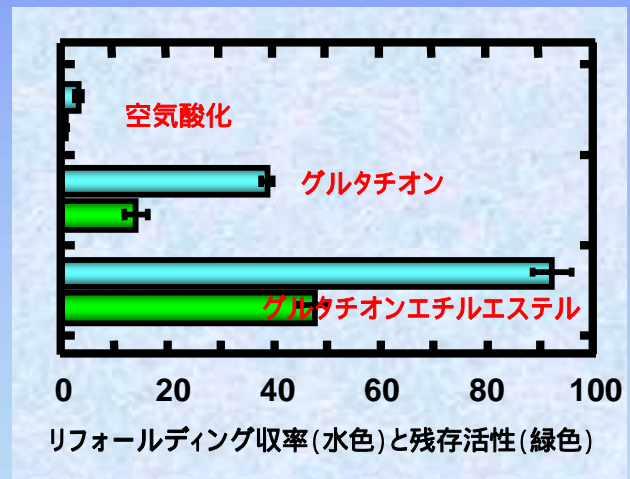
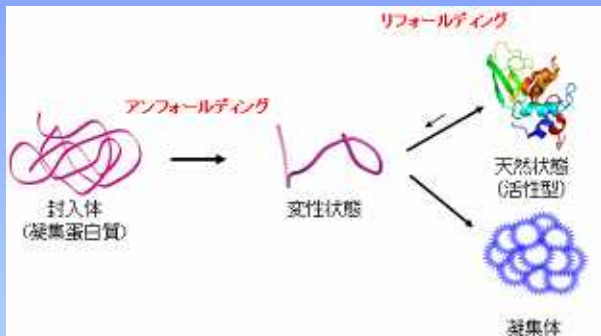
キーワード

蛋白質リフォールディング グルタチオンエステル

研究の概要

近年、大腸菌発現系等により安価で大量に目的蛋白質が得られるようになったが、ミスフォールディングされた不溶性の封入体として得られことが多い。このため、一旦アンフォールディングさせた後、本来の立体構造にリフォールディングさせる手法が研究室レベルから工業生産に至るまでとられている。しかし、リフォールディング再生は、ミスフォールディングが平行して生じ、その収率は悪い。

そこで、我々は、ジスルフィド架橋系蛋白質のリフォールディング時にレドックスバッファーとして用いられているグルタチオンの特定誘導体の影響を調べ、リフォールディング収率を大幅に改善することを見出した。



研究の応用分野

蛋白質リフォールディングキット、組換え蛋白質生産システム

関連業績 (特許・文献)

特願2008-277109 リフォールディング剤および蛋白質のリフォールディング方法

関西学院大学 研究推進社会連携機構

<http://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/>

Tel. 079-565-9052 / Fax. 079-565-7910 E-mail: ip.renkei@kwansei.ac.jp